

★ 浄勝寺(浄土宗)

① 船橋市の寺町の中心に位置し
大きな建物の前庭に駐車場 幼稚園を
経営する 建物の横には
墓地が存在する

★ 不動院(真言宗)

明治時代 浦安の漁民2名が 鯉湾
で水死し その始末を船橋 漁民が
後始末をした。浦安 漁民はお礼に
大仏を 建てた。近所では「腹が空いた
らう」と大仏の口に 飯つぶを投げ
ても続いている(正月 他)

★ 船橋東照宮

② 本町通り 中央図書館の近所の
小道を入った所に東照宮はある
徳川家康や息子と一緒に東金の
タカ狩りに江戸から来るときに寄ったり
泊ったりしたところだと言う

③ 森田屋呉服店・広瀬乾物店

本町通りの中心に通りを狭くして軒が
営業している 建物の作りや屋根が
廻りの建物に較べて江戸や明治の
時代が見えてくる
店主によると昔は呉服は農家の「もんぱ」
がよく売れ 幕張辺りから 買いに来てくれた
又乾物屋は現在も昔をなつかしみ
茨城方面から来てくれているそうだ、
特に昔からの「コンパクト」が人気
がある

★ 船橋大神宮 灯明台

④ 大神宮の中に灯明台はあり江戸時代より
海上が近くにあり 漁民の目印になっていた。
建物は木造で六角形の形状 下部の1,2
階は和形であるのに対し 灯明部は3階の
洋風である 普段は中に入るとはできない
が正月1月~3日間に入ることが出来る
慶応4年の戊辰戦争の戦火により社殿とも
に焼失している。灯明台の再建を望む声
が高まり地元有志の寄付金 明治18年に完成
明治28年に廃止されるまで政府公認の
私設灯台として機能した。昭和37年
5月1日には千葉県の有形民俗文化財の
指定を受けた。

⑤ 明治天皇行在所跡(千葉銀行横)

千葉県教育委員会(昭和9年12月18日)
明治6年を初めとして明治45年までに10回
在県された。近衛演習を見学される
ため大和田原にお出ましになり1月月の
昼食をとられた。宿泊は九日市の旅館
秘屋、山口家に泊られた。以後山口家
昼食5回。ご休憩2回 本県では最も多
く立寄られた



大神宮



子供用土俵

奉納相撲(土俵)
神社に土俵があるのは珍しいことかもし
れません。現在も続く奉納相撲は、当宮に
参詣、逗留していた家康公をもてなす為
に、地元の子供たちに相撲をとらせてたど
が、その始まりといわれています。家康